

使い捨て手袋の 油化リサイクルシステム

02

00

当社が提案する
理由



株式会社ワークソリューション

03

ワークソリューションの紹介

● 除菌装置の開発・製造・販売

紫外線（UV-C254nm）の強力な除菌力を利用している。

● 衛生管理のコンサルティング

● 製造委託

● 油化装置の販売



04

ワークソリューションの製品

● 手袋除菌装置



ソルパットmini



ソルパットアドバンス
(除菌履歴管理付き)



不活性化くん

05

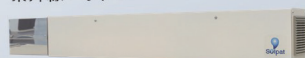
ワークソリューションの製品

● 空気除菌装置

ソルパットAP

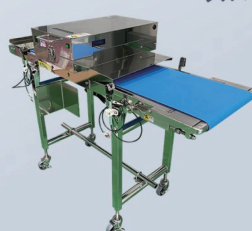


ソルパットAP SUPER
紫外線+オゾン



● ベルトコンベア除菌装置

ソルパットBT



06

手袋除菌装置を取り扱っているから みえてきた使い捨て手袋の課題。

- 衛生管理の向上と共に増える使い捨て手袋。
- 増え続ける衛生用品の経費。
- 使い捨て手袋使用後に出る廃棄手袋の量。
- 物価やエネルギーの高騰。
- 求めらる脱炭素社会に向けた取り組み。

07

01

使い捨て手袋の 目的



08

使い捨て手袋を使う目的

- 人体の保護
医療従事者や患者への感染を防ぐ
- 食品の保護
カビや菌から食品を守る
- 製品の保護
汚れや静電気などから製品を守る



09

使われ始めたのは？

1960年ごろ

医療用として使われ始める。
その後は医療、介護、食品製
造、機械加工など様々な分野
で利用され、近年では感染予
防として家庭でも使用されて
いる。

現在

感染予防、衛生管理において**必須**。



10

使い捨て手袋は
絶対必要



11

02

使い捨て手袋の
課題



12

使い捨て手袋の課題

- 需要の増加

世界の使い捨て手袋市場は2024年に198億8000万ドルから2032年には517億5000万ドルと予測。

- 廃棄手袋の増加

- 材料の確保

世界需要の高まりで資源供給が不安定。原材料は主にマレーシアや中国で生産。円安や地政学リスクがある。



13

持続供給のために 資源を守る



14

03

資源を守るために
やれること



15

資源を守るためにやれること

- 無駄遣いを減らす
手袋の交換回数を減らす
- 焼却時の燃料にする
サーマルリサイクル62%
- 他の製品にする
マテリアルリサイクル21%
- 燃料や原料にする
ケミカルリサイクル4%

2021年廃プラスチック有効利用率87%



16

使用回数を減らして

原料に戻す
ケミカルリサイクル



17

04

ケミカルリサイクルの
課題



18

ケミカルリサイクルの課題

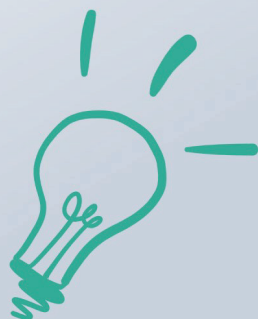
- **大規模な設備**
施設が大きくなり施設の場所が限られる。
- **高度な技術**
管理に高い技術が必要。
- **施設の場所が限られる**
特定の場所にしか設備がない。
輸送が必要になる。



19

05

ケミカルリサイクルの課題を解決



20

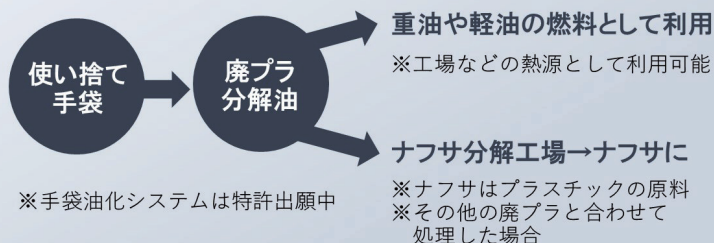
ケミカルリサイクルの課題を解決

- **小型施設**
様々な場所に設置できる
- **単純構造**
高い技術が不要
- **近くに設置**
近くに施設を設置できる。
輸送コストが下がる。



21

使い捨て手袋を油化する



22



23

単純&小型構造にする。



施設が増えてプラゴミの
ケミカルリサイクル率が上がる。



使い捨て手袋を資源にする